土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

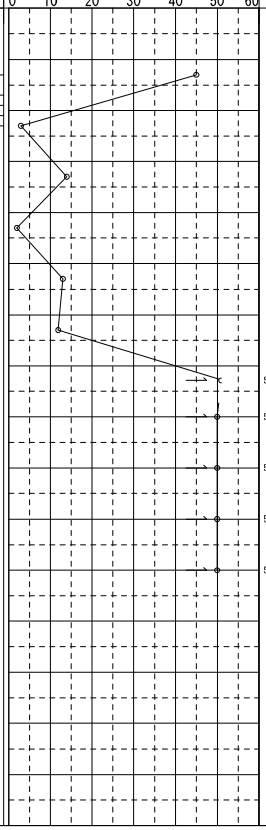
調査名	その他河川天地川支川１　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　橋梁・高架

ボーリング名	支川1-5-No.5	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦4丁目	北緯	34° 18′ 30.5300″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2020／12／ 8～2020／12／10	東経	132° 30′ 40.5200″
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 60.43m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南
総削孔長	11.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型
					エンジン：ヤンマー TF-90M　ポンプ：東邦製BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	58.98	1.45		礫混じり砂		濃茶～茶褐			中～細砂主体。礫はφ2～10mmの亜角礫主体で，一部φ40mmのものを含む。全体的に植物根混入する。	12/8 1.30
2	58.43	2.00		玉石混じり礫混じり砂		淡灰褐 褐灰			中～細砂主体。玉石はL=7～15cmの硬質な花崗岩よりなる。礫はφ2～5mm程度。	1.70
3	57.73	2.70		シルト混じり砂		茶褐	rd1		細砂主体。やや細粒分を含む。	
	56.93	3.50		礫混じり砂		茶褐	rd3		中～細砂主体。礫はφ2～5mmのものが主体で，層下部はφ20～30mm程度の亜角礫増加する。GL-3.9m付近，φ55mm亜角礫混入する。	
4	56.43	4.00		玉石混じり砂礫		茶褐 淡灰褐			L=5～20cmの硬質な花崗岩玉石を含む。砂は中～細砂主体で，礫はφ2～5mm程度。	
5				礫混じり砂		褐灰	rd2		中～細砂主体。礫はφ2～5mmの亜角礫主体。一部φ15～20mm程度の花崗岩礫を含む。	
6	53.73	6.70								
7	53.01	7.42		玉石混じり礫混じり砂		褐灰			中～細砂主体。L=24cmの風化花崗岩玉石を混入する。礫はφ10mm程度。	
8				花崗岩		淡灰褐			CM～CH級の粗粒花崗岩。GL-10mまでは岩級区分CM級を呈し，短柱状～柱状コアで採取される。ハンマー軽打により金属音を発する。岩片は硬質であるが，亀裂間隔は3～15cm程度である。GL-10mより亀裂間隔広くなり，岩級区分CH級を呈する。	
9										
10										
11	49.43	11.00								
12										
13										
14										
15										
16										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
45	1.15	12	18	15	45/300		
	1.45						
3	2.15	1	1	1	3/300		
	2.45						
14	3.15	5	5	4	14/300		
	3.45						
2	4.15	1/150	1/150		2/300		
	4.45						
13	5.15	6	4	3	13/300		
	5.45						
12	6.15	3	4	5	12/300		
	6.45						
50以上	7.15	9	7	35/70	51/270	265	
50以上	7.42 8.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	9.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	10.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	11.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15				12/7
1.45	P-5-1	⊖	粒度	
2.15				
2.45	P-5-2	⊖	粒度	
3.15				
3.45	P-5-3	⊖	粒度	
4.15				
4.45	P-5-4	⊖	粒度	
5.15				
5.45	P-5-5	⊖	粒度	
6.15				
6.45	P-5-6	⊖	粒度	12/8
7.15	P-5-7	⊖	粒度	
7.42				
				12/9
				12/10